

日本民間教育大賞

記念講演会 祝賀会



日本民間教育大賞 ダイジェスト版動画は下記 URL または QR コードからご覧いただけます。
<https://www.youtube.com/watch?v=rUIMjiovXlo>
 ●映像協力 ●
 (株)フレックス design office[moov]



日本民間教育大賞 総合司会 (株) ヒューマレッジ 木村吉宏 代表取締役



大島九州男 元参議院議員



記念講演の講師を務めた (株) 市進ホールディングス 下屋俊裕 代表取締役会長



オンラインで参加した (一社) 日本青少年育成協会 増澤空 会長



自由民主党政務調査会長 下村博文 衆議院議員 (元文部科学大臣)

7月19日(月)東京・神田の学士会館において、日本民間教育大賞選定会議 主催「日本民間教育大賞授賞式・記念講演会・祝賀会」が盛大に開催された。3月19日(金)に予定されていたこの会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期となり、この日に開催されることとなった。会場の入場者数は制限され、一部の民間教育関係者はオンラインでの参加となった。



日本民間教育大賞は、満75歳以上を対象とする「民間教育最高功労賞」と没後10年以内の故人を対象とする「民間教育特別功労賞」の2部門で構成されている。記念講演会では、株式会社市進ホールディングス 代表取締役会長の下屋俊裕氏が「少子化とこれからの教育」をテーマに講演を行った。授賞式に先立って、この1年間にお亡くなりになった民間教育関係者のご貢献に感謝するとともに、ご冥福を祈って1分間の黙祷を行って授賞式に移った。授賞式は、私塾協同組合連合会理事長の坂田義勝氏が開会のご挨拶を述べ、民間教育最高功労賞の3名の先生と民間教育特別功労賞の2名の先生を紹介し、表彰状と盾が授与された。民間教育最高功労賞は、塾・ひびき 塾長 布浦万代先生、(株)明友社(明修塾)相談役 村上宏典先生、(株)明光ネットワークジャパン 取締役会長 渡邊弘毅先生が受賞された。村上宏典先生は会場にお越しになれなかったため、代理として株式会社明友社(明修塾)会長で特定非営利活動法人学習塾全国連合協議会全国会長の山下典男氏が表彰を受けた。民間教育特別功労賞を受賞された大沼信雄先生の代理として、公益社団法人全国学習塾協会会長の安藤大作氏が表彰状と盾を受け取り、ご子息の大沼良浩様がオンラインで受賞のご感想を述べた。同じく同賞を受賞された平林治先生の奥様の平林清子様も表彰を受けた。閉会の辞を述べたのは、オンラインで参加された一般社団法人日本青少年育成協会会長の増澤空氏。「日本民間教育大賞を受賞された先生方を見ておると、きっと様々な波瀾万丈な人生を送られてこられたのだろうと想像されます。本当はオンラインではなく会場で大きな声でお祝いの詞を述べ、拍手喝采を贈りたかったのですが、それが叶わず実に残念です。このたびはおめでとございました」。祝賀会では、民間教育関係者が受賞された先生方にお祝いの詞を述べ、情報交換や名刺交換などを行った。元文部科学大臣で衆議院議員の下村博文氏は「人生100年時代と言われる中、これまでとは違った意味かもしれませんが、民間教育が果たす役割は多々あると思います。ピンチをチャンスに変えるような皆様のお仕事をバックアップさせていただくことをお約束申し上げたいと思います。本日は本当におめでとございます」と挨拶した。

ソーシャルディスタンスを保つために大勢の皆様へご参加の案内が叶わず誠に申しわけございませんでした。誌面を通して皆様方と一緒に受賞された先生方をお祝いさせていただけると大変嬉しいです。



- 日本民間教育大賞選定会議 (構成団体・団体名50音順)
- 一般社団法人 日本青少年育成協会
 - 学習塾公開企業協議会
 - 公益社団法人 全国学習塾協会
 - 私塾協同組合連合会
 - 全国学習塾協同組合
 - 全日本私塾教育ネットワーク
 - 特定非営利活動法人 学習塾全国連合協議会
 - 特定非営利活動法人 全国教育ボランティアの会
 - 民間教育連盟
- 顧問 下村博文 衆議院議員
 顧問 大島九州男 元参議院議員

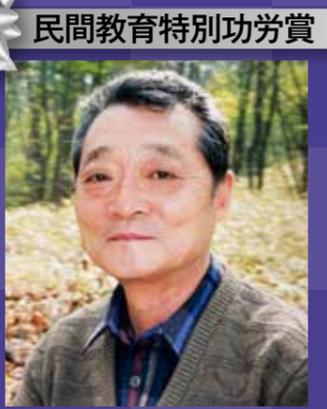
日本民間教育大賞 授賞式

民間教育の発展にとくに功績のあった故人(50音順)



総合学習センター大沼学院 前代表 公益社団法人 全国学習塾協会 前副会長

平林治先生



青雲塾 前塾長 全日本私塾教育ネットワーク 元顧問

●略歴 1955年3月宮城県生まれ。79年、宮城県多賀城市に「多賀城学習会」を創立、のち同会を「総合学習センター大沼学院」に改称。92年、宮城県私塾協同組合の創設に尽力、設立時に専務理事就任。2009年、社団法人全国学習塾協会北海道東北支部支部長。17年、公益社団法人全国学習塾協会副会長に就任。20年10月没。

●授賞理由 宮城県を中心とする東北地域一帯の民間教育の発展に寄与するとともに、全国の民間事業者間の交流・連携に寄与した功績

受賞のご感想 大沼良浩 様 (大沼信雄先生のご子息 オンラインで参加)

このたびの民間教育特別功労賞の受賞、父になり代わりまして、御礼申し上げます。私にとつての父は、本当に頑固者でした。家族の言うことはほとんど聞きません。それでも全国の先生方と様々な交流をし、そしてその先生方から、私の父は本当に優しい方だとよく言われました。そのギャップが私にとっては大きな驚きだったのですが、経営者というものは、家の外ではそういうものかもしれないな、と思っております。父が昨年亡くなって、多くの方々からお言葉をいただき、父が本当に多くの方々から慕われていたのだという事実を実感いたしました。家の中では厳しい父でしたが、皆様との交流を深め、多くの方々から慕われていたのだと改めて思いました。父のそういった交流を大切にしながら、私も父を見習ってやっていきたいと思っております。このような大変素晴らしい賞をいただき、まことにありがとうございます。

ですが、経営者というものは、家の外ではそういうものかもしれないな、と思っております。父が昨年亡くなって、多くの方々からお言葉をいただき、父が本当に多くの方々から慕われていたのだという事実を実感いたしました。家の中では厳しい父でしたが、皆様との交流を深め、多くの方々から慕われていたのだと改めて思いました。父のそういった交流を大切にしながら、私も父を見習ってやっていきたいと思っております。このような大変素晴らしい賞をいただき、まことにありがとうございます。



▲オンラインで参列した大沼良浩様

●略歴 1941年10月東京都足立区生まれ。60年、大学在学中に塾を開業。64年、足立区千住柳町に青雲塾を創立。97年、全日本私塾協会(PTEF)理事長に就任。2001年、同協会を含む3団体を発展的に解消して設立された全日本私塾教育ネットワーク(私塾ネット)の創設に尽力。04年、足立区民生・児童委員。20年8月没。

●授賞理由 東京都を中心とする地域一帯の民間教育の発展に寄与するとともに、全国の民間事業者間の交流・連携に寄与した功績

受賞のご感想 平林清子 様 (平林治先生の奥様)

本日はこのような素晴らしい賞をいただき、本当にありがとうございます。主人は大学1年の頃から塾を開業し、その後50年あまりにわたって地域の子どもたちに関わってき



とをやっておりました。2004年には、足立区の民生・児童委員も務めております。また、全日本私塾協会(PTEF)理事長に就任し、全日本私塾教育ネットワーク(私塾ネット)の創設に尽力するなど、塾業界の先生方との交流を深め、民間教育の発展のために日夜努力し続けておりました。主人が塾人として充実した人生を送ることができたのも、塾の先生方のおかげだと思っております。感謝申し上げます。

このたびは、まことにありがとうございます。

民間教育特別功労賞



ました。学習の指導をするだけでなく、地域の子どもたちと一緒に山へ行ったり、地域の方々と様々なこ



このたびは、まことにありがとうございます。

民間教育の発展にとくに功績のあった方 (50音順)



民間教育最高功労賞

ふうら まよ
布浦万代先生
塾・ひびき代表
一般財団法人つくば国際交流協会理事長



●略歴
1944年2月神奈川県生まれ。82年、茨城県つくば市に「塾・ひびき」を創立。95年から3期6年にわたり茨城県学習塾協同組合理事長。2002年、塾教育研究会副代表。10年、茨城統一テスト協議会幹事。11年、茨城放送で茨城県立高校入試問題国語解説者。15年に国連ユニバ本場で講義を行うなど万葉集研究の第一人者。

●授賞理由
民間教育事業者間の交流・連携に寄与するとともに国際交流活動や文化活動などを支援した功績

受賞のご感想

このような立派な賞をいただき、本当にありがとうございます。私はもともと高校の国語の教員でございました。大きな教育というワクの中、また、当時の文部省の規制の中でやってまいりました。特に国語は感性を大事にするようなところが大きく占められ、なかなか思うようにはいきませんでした。しかし私は、自分のカリキュラムを作り、そして様々な考えを取り入

れながらやっていきたいという思いがねに心の底にありましたから、自分の教育をしっかり見定めて、生徒たちを集めて塾を始めました。帰国子女が非常に多い地域でございましたらから、国語に特化した塾を運営してまいりました。また、私の若い頃からの専門でございませう万葉集の研究にも先生に恵まれ、今日まで続けることができました。2015年には国連で、「万葉集における古代日本女性の社会進出」というテーマで講演させていただきました。日本の古典の世界の深さを世界に発信することができました。

私は学校の教員をしておりますが、塾の先生という仕事は天職だと思っております。様々な先生方と



出会うことができたのも、塾をやっていたおかげだと思っております。今後とも塾教育に励んでまいります。本日はまことにありがとうございました。



民間教育最高功労賞

むらかみ ひろすけ
村上宏典先生
株式会社明友社(明修塾)相談役



●略歴
1942年9月岡山県生まれ。73年岡山県倉敷市に「浜ノ茶屋学習塾」を創立。79年、「明修塾」に改称。83年、(株)明友社に法人化。88年、社団法人全国学習塾協会の読書作文コンクールの創設に尽力。89年、同協会理事、2003年、副会長。また、NPO学習塾全国連合協議会西日本ブロック理事長など数々歴任。

●授賞理由
岡山県や鳥取県を中心とする地域一帯の民間教育の発展に寄与するとともに、全国の民間事業者間の交流・連携に寄与した功績

受賞のご感想

村上宏典先生の代理として、(株)明友社(明修塾)会長で、特定非営利活動法人学習塾全国連合協議会 全国会長の山下典男氏が登壇して受賞のご感想を述べた。村上先生は体調を壊してからここ10年以上、(株)明友社(明修塾)の経営の一線からは退いていたが、相談役として年に数回は塾に顔を見せているという。体調はずいぶん良くなっているという。岡山から東

京に行くのは負担が大きかったので、山下氏が代理を務めることになった。「現在、公益社団法人は全国学習塾協会ですけれども、設立当初の30年以上前、村上は中国、四国の各塾、あるいは任意団体の集まりに顔を出して、これからの時代は全国学習塾協会というまとまりが必要だと説き、会員になってもらえよう働きかけていました」と、当時を振り返る山下氏。

もう一つは、同じく全国学習塾協会の「読書作文コンクール」だ。「読書作文コンクールは今年で31回目を迎えますが、現在は通塾生だけではなく、各教育委員会に依頼して、全国811の公立小中、約27万人の小中学生の皆さんにご案内できるまでに大きくなってきました。その立



ち上げに村上が関わっていたということが、今回の受賞の大きな要因だろうと私は思っております。受賞の報告をしたときに、会場に行けなくて残念だけれども、皆様方によりしくお伝えするようにと申されましたので、本人になり代わりまして、御礼申し上げます。日本民間教育大賞 民間教育最高功労賞、まことにありがとうございました。



民間教育最高功労賞

わたなべ ひろたけ
渡邊弘毅先生
株式会社明光ネットワークジャパン 取締役会長
公益財団法人明光教育研究所 代表理事



●略歴
1942年9月東京都生まれ。84年、個別指導塾17教室を引き継ぎ東京都中野区にサンライズ(株)を設立。塾名を「明光義塾」に改称、F.C事業を開始。85年、明光義塾(株)に改称。86年、(株)明光ネットワークジャパンに改称。97年、株式を日本証券業協会に店頭登録。2004年、東証第一部に上場。15年、会長就任。

●授賞理由
全国の民間教育の発展に寄与するとともに奨学制度を通じて若年人材の育成に寄与した功績

受賞のご感想

本日は大変素晴らしい、栄えある賞をいただきました、まことにありがとうございます。私が学習塾を始めたのは、37年前のことです。創業24年の塾から教室を引き継いでほしいと言われ、17教室を継ぐことになり、その受け皿として現在の明光ネットワークジャパンを設立しました。塾名だけを明光義塾にして運営を続けてきましたので、明光義塾は個別指導塾とし

て今年で61年目を迎えております。当時は個別指導の塾はほとんどありませんでしたから、「個別指導」というような指導法なのかを一生懸命生徒や保護者に説明していたのが、今では大変なつかしい思い出となっております。現在明光義塾は韓国と台湾で展開しており、海外を合わせると2000教室になります。

明光ネットワークジャパンは設立20年目になり、東証一部上場企業となりましたので、公益財団法人明光教育研究所を設立し、共同経営者である奥井世志子と私の持つ「明光ネットワーク」の株式の一部を財団に寄付し、財団はその株式の配当金でひとり親家庭のお子様に対して教育と服の支援をさせていただいて



おります。振り返ると大変充実した人生を送らせていただき、本当に毎日が感謝の連続です。この9月に79歳を迎えますが、あと少し頑張ってみようか思っておりますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。本日はまことにありがとうございました。

日本民間教育大賞

民間教育最高功労賞
渡邊弘毅殿

あなたは多年にわたり民間教育の発展に尽力されました。その功績は特に顕著であり後進の範たるにふさわしいものであります。よって本賞を贈り長年の功を讃え表彰致します。

2021年7月19日

日本民間教育大賞選定会議

- | | |
|----------|-----------------------|
| 委員 安藤大作 | 公益社団法人全国学習塾協会 |
| 委員 坂田義隆 | 私塾協同組合連合会 |
| 委員 佐藤勇治 | 特定非営利活動法人全国教育ボランティアの会 |
| 委員 常石博之 | 学習塾公同企業協議会 |
| 委員 神野千和 | 全日本私塾教育ネットワーク |
| 委員 増澤定 | 一般社団法人日本若年教育協会 |
| 委員 森一 | 全国学習塾協同組合 |
| 委員 森本一 | 民間教育連盟 |
| 委員 山下典男 | 特定非営利活動法人学習塾全国連合協議会 |
| 顧問 下村博文 | 衆議院議員 |
| 顧問 大島九州男 | 元参議院議員 |

